

(令和7年度当初分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 大阪府大阪市
本事業の担当部局名 大阪市住吉区役所保健福祉課(健康推進)

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	3.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
個別事業名	もうすぐパパママ応援事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続				
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	令和5年度		
総事業費(A)(円)	3,093,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	3,093,000		
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	3,093,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	41,000	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	41,000	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	3,052,000	0	0	0	0	3,093,000
	対象経費支出予定額	3,052,000	0	0	0	0	3,093,000
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 出産や子育て期にあたる女性の労働力率が高い国は、出生率が高い傾向が国際的見地よりみられることから、女性が働き続けられる社会の実現は、自分に合ったライフスタイルの実現はもとより、少子化の改善につながっていく。 仕事や子育てをはじめとする生活が共に自分らしく豊かに過ごすことができるよう、仕事と生活の調和の実現に向け、行政と地域が連携して社会全体で取り組んでいく。</p> <p><本個別事業の位置付け> 令和7年4月からの市町村こども計画「大阪市こども計画」に基づき、住吉区においても、安心してこどもを生み、育てることができるよう、妊娠期から子育て期にわたる多職種による切れ目のない支援の充実を図るため、初めて出産を迎える家庭に対し、アウトリーチによる相談支援ならびに父親を対象にした講座を実施し、夫婦がともに協力して子育てできるよう支援する。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	もうすぐパパママ応援事業	(1)妊娠5か月頃の初めて出産を迎える家庭への、保健師等による電話でのアウトリーチによる相談支援 対象者 400人/年 (2)初めて父親になる男性を対象にした「はじめてのぱぱこうざ」の開催 対象者 30人/回 年6回 (3)「ぱぱこうざ」参加者を対象にした「ぱぱこうざ同窓会」の開催 対象者 15人/回 年2回				
	2						
	3						
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 「ぱぱこうざ」の参加者からは、出産後も父親を対象にした子育て教室を実施してほしいとの声がある。また、講座は単発での実施のため、父親とおしの交流につながりにくい。そのため、令和6年度より新たに「ぱぱこうざ」参加者を対象に「ぱぱこうざ同窓会(はじめてのぱぱとのお出かけ)」を1回開催し、参加の機会を増やすため、令和7年度より開催回数を年2回とする。</p>							

	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	「はぐあっぷ推進事業」における教室参加者へのアンケートで、育児に対し肯定的に捉えることができる、育児不安が軽減されたと回答した参加者の割合		%	80
「育児体験講座に参加して子育てに対する自信がついた」と答えた区民の割合		%	100	83.3 (R6. 12. 19時点)	
子育てサポートアプリの構築率		%	100% (R7年度)	—	
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.04 (R3年)	
	婚姻件数		件	15,735 (R3年)	
	婚姻率			5.7 (R3年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	ばば講座への参加目標人数	人	180	R6:77人(12月時点) R5:117人
	②	ばば講座同窓会への参加目標人数	人	10	R6実施中
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	75	98.6
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	75	100
	④				
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(令和7年度当初分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 大阪府大阪市

本事業の担当部局名 大阪市東淀川区役所保健福祉課(子育て・教育)

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	3.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
個別事業名	子育て応援事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)				継続	
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	令和5年度		
総事業費(A)(円)	388,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	388,000		
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	388,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	154,000	0	0	0	207,000	3,000
	対象経費支出予定額	154,000	0	0	0	207,000	3,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	0	24,000	0	0	0	388,000
	対象経費支出予定額	0	24,000	0	0	0	388,000
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 出産や子育て期にあたる女性の労働力率が高い国は、出生率が高い傾向が国際的見地よりみられることから、女性が働き続けられる社会の実現は、自分に合ったライフスタイルの実現はもとより、少子化の改善につながっていく。 仕事や子育てをはじめとする生活が共に自分らしく豊かに過ごすことができるよう、仕事と生活の調和の実現に向け、行政と地域が連携して社会全体で取り組んでいく。</p> <p><本個別事業の位置付け> これまでの妊娠中の支援は、母親(妊婦)に対する支援が主となっており、母親(妊婦)を取り巻く父親や祖父母、地域の方々等を主な対象とした支援は十分とはいえない。 母親(妊婦)や周囲の家族だけでなく、地域住民に対しても「赤ちゃんが泣くこと」について理解を深めることは、子育てのスキルアップにつながり、ひいては不安を軽減し、母親(妊婦)の孤立化を防ぐことから、東淀川区では、泣き声をあげるようにプログラミングされた赤ちゃん型の人形を活用した育児体験講座を令和5年度より実施している。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	リアルベビーで育児体験講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・泣き声をあげるようにプログラミングされた赤ちゃん型人形を活用した助産師、保健師、保育士による子育て応援講座を概ね月1回、日曜日に実施。対象者は、母親(妊婦)、父親、祖父母、地域における子育てサポーター。 ・主任児童委員等を中心とする子育て支援機関とも連携し、1回あたり10人程度の参加を想定。 ・泣き声をあげるようにプログラミングされた赤ちゃん型人形を使用することにより、実際のベビーに非常に近い体験ができるので、子育てのイメージがしやすくなる効果が期待できる。このことを目玉として、これまで子育てに対する関心の高くなかった人に対しても集客力を高めることが期待できる。 				
	2						
	3						
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・地域サポーターについては、講座参加者が少なく、地域サポーターへのアプローチ方法の再検討が必要である。</p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	「はぐあっぷ推進事業」における教室参加者へのアンケートで、育児に対し肯定的に捉えることができる、育児不安が軽減されたと回答した参加者の割合		%	80	R6実施中
	「育児体験講座に参加して子育てに対する自信がついた」と答えた区民の割合		%	100	83.3 (R6. 12. 19時点)
	子育てサポートアプリの構築率		%	100% (R7年度)	—
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.04 (R3年)	
	婚姻件数		件	15,735 (R3年)	
	婚姻率			5.7 (R3年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	リアルケアベビーを活用した育児体験講座の参加目標人数	人	88 (R6. 12. 19時点)	43 (R6. 12. 19時点)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	90	-
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	90	-
	④	育児体験講座参加後の育児参加意識の向上	%	100	100 (R6. 12. 19時点)
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					